日本肺癌学会肺がん検診委員会からのお願い

アールエフ社製 Naomi および New Naomi をご使用の胸部検診実施機関の先生方へ

拝啓
秋冷の候、先生方におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は肺がん・結核検診、胸部検診に関して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本肺癌学会肺がん検診委員会では、有効な肺がん検診の実施にむけ、様々な取り組みを行ってい
ます。その取り組みの中で、各自治体の検診現場から「アールエフ社のデジタル X 線撮影シス
テム（Naomi および New Naomi）にて撮影された胸部単純 X 線写真は、二次読影に提出される画像を
みると全体に白い場合があり、読影には適さないのではないか」などのご意見が寄せられました。肺が
ん検診委員会がアールエフ社を訪問して調査したところ、付属する現行のソフトウエアは撮影後に
胸部画像として最適化する画像処理方法や CD へのコピー方法がやや複雑であることが問題の原
因と考えられました。特に、保存した複数の撮影画像を一括して CD にコピーする際に、ユーザーの
意図に反して未処理画像がコピーされている可能性があったことが判明しました。そのため、本委員
会と申しつつは、ソフトウエアの改良が必要であると結論しました。

本委員会との協議を経て、アールエフ社にはこのたび付属するソフトウエアのバージョンアップを行
っていただきました。その結果、バージョンアップされたソフトウエアであれば、肺がん検診に
最適化された画像を確実かつ簡便に二次読影に提出できると考えられました。日本肺癌学会で
は、推奨する肺がん検診用の胸部撮影機器を学会ホームページ上で公開しています。今回アール
エフ社のソフトウエアがバージョンアップされたことを踏まえ、本委員会は、「アールエフ社のデジタ
ル X 線撮影システム（Naomi および New Naomi）は、バージョンアップされたソフトウ
エアを使用する場合のみ、肺がん検診用胸部撮影機器として推奨する」ことにいたしました。

アールエフ社のデジタル X 線撮影システムを用いて肺がん・結核検診、胸部検診を実施されていら
っしゃる先生方には、是非ともソフトウエアのバージョンアップを行っていただき、引き続き肺がん・結
核検診のご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

敬具

2016年10月 吉ヨ

日本肺癌学会肺がん検診委員会
委員長 佐川元保